

第2部 コンサート

第1部は「オルゴールの夢館工・自動人形の世界」をテーマとし、当時の人形師の精巧な作品を「動き」1百個、とともに見込んで頂きました。

続く第2部では、ピアノ・オルゴール、シリンドーオルゴールを中心に、オルゴールの異なる種類の音色を楽しんで頂く「コンサート」を行います。

使用する主な機種と曲目は次の通りです。

1. シンフォニオン・エロイカ

1900年 ドイツ製 シンフォニオン社

- ♪ 春の夜
- ♪ 愛のササナヒト
- ♪ いとしのマミー
- ♪ ローレン・ダマーン
- ♪ ちみのも 曲



◀シンフォニオンエロイカ



▶シンフォニオンエロイカ

2. ポリフォン・コンサート

1890年代 ドイツ製 ポリフォン社
(東栗倉村所有)

- ♪ マグ・レリア・ルネタイカ
- ♪ 子鹿舞曲
- ♪ グレーのホルン
- 曲



▶ポリフォンコンサート

3. レジャーフォン

1920年代 アメリカ製 ショーナ社
(東栗倉村所有)

- ♪ グ・キチューの遊園地
- ♪ 乙女の朝日 曲



東栗倉村の「オルゴール夢館」

村を走る4.5キロの山の中腹に、約700坪の広大な敷地の「オルゴール夢館」(通称「緑色の博物館」)を核とした「ベルドール自然公園」があります。公園の「オルゴール夢館」には、本館に使用した機種のオルゴールを110数点所有しています。観覧が可能な時間帯が追加してください。(入館料200円)

ベルドール自然公園 TEL (0868) 8-2000

本館開館にあたっては多くの協賛を蒙り、実現いたしました。(敬称略)

協賛 (まわりの声)
東栗倉村(村長 藤田 隆)

協賛 名村 義人
協賛 藤田 隆二
協賛 株式会社 高橋之義社

協賛 「オム」 株式会社

協賛 「オム」 株式会社

協賛 名村 義人
協賛 藤田 隆二
協賛 株式会社 高橋之義社

なお、会場にあるオルゴール、オートマタの多くは、(東栗倉村所有) としていたものが多くあります。また、オルゴールの小さな複製品も多数あります。

オルゴールの夢館工

自動人形の世界



クラシックオルゴールとめ

ふれあいコンサート

1992年11月7日・8日
東栗倉村集落センター
主催 東栗倉村



▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

▶クラシックオルゴール

クラシック
「クラシック」 1992年11月・スイス製

オーガンを旅行するとしばしば時計店と出会います。さらには時を刻むベルがメロディを奏で、それとともにカラクリ人形が登場して人々を楽しませている風景を目撃することがあります。こうした時計屋の歴史は山脈にまで遡ることができ、19世紀には、ベルはオルゴールへと発展し、人形はオートマタ(自動人形)へと形を変えていきます。

18世紀のスイスの時計技術、ジャン・ドローは鐘巻の音楽入りカラクリ時計を制作しました。特に「ダンス」、劇記、書物の「体」が有名で、現在でもスイスのク・シヤサールの博物館に行くとき実際に動くのを見るのができます。

19世紀後半になるとオルゴールは金銀製の真鍮、主に時計のその駆動方を利用して人形を駆動させる自動人形(オートマタ)も盛んに作られました。

フランスのジュモーやブーシェなどの著名な人形師が作ったジャン・ドローに、オルガニストカラクリが加えられ、移動を動かす



かわいい姿で人々を楽しませました。

また、人形を動かしたり、いろいろな音などカラクリ人形、キョウウサキなどの動物がユウモラスに動く人形など、さまざまな作品が作られました。これらの人形は動く音だけではなく、その服装からも当時の生活をしのぶことができます。

今日、東京富村で公開するオートマタはこうした時代に作られた名品ばかりです。「オルガニストの夢見」にもさわしい内容で、シリンダー・オルゴール、ディスク・オルゴールもお楽しみいただけます。



自動人形(オートマタ)

1. マリオネットと華の少女
1860年 フランス製(ゴッシー作)
2. 盛装舞を引く少女
1883年 フランス製(ランベール作)
3. トルコの踊りの女
1890年 フランス製(ランベール作)
4. ワルツを引くトール
1905年 フランス製
5. ブードルのティーパーティー
1910年 フランス製
6. ドラムを叩く少年
1875年 フランス製
7. ミルク缶の中の娘
1900年 フランス製
8. キヤベツの中のウツギ
1890年 フランス製(ドラモン作)
9. 動く鐘楼
1850年 ドイツ製
10. ピエロ・カタリパン 片手鏡の演奏者
月の上のギター奏者 など



ベル付きの時計

1. プラケット・クロック
1730年頃 イギリス製(ロバート・ヒュー作)
ベルを叩いてメロディを演奏する時計で、オルゴール誕生の直前に作られたものです。

シリンダー・オルゴール

薄紙の筒を命題の音階に巻きこんだピンで弾くことによって、音を出します。このシステムは1796年に発明され、1900年代に改良が加えられるまで続いています。筒には、ベル、ドラム、音楽楽器、人形などが取り付けられるようになり、オーケストラなどの演奏ができるものまで登場しました。

1. ヴィクトリア・シアター
1860年頃 スイス製
コインをいれるとカーテンが上がり、人形達が踊るシーン
2. シリンダー・インターテーンシャブル
1890年頃 スイス製(ノルモッド)
スイスの名門・ルネ社製の豪華シリンダー・オルゴール
3. ヘルツドフムの美しいオルゴール
1890年代 スイス製(東家自村所有)

ディスク・オルゴール

薄い銅製の円盤をプレスすることで山や丘陵を作り、演奏することのできるオルゴールです。電気が利用できなかったレーコードの原理と同じように、一枚の機械があれば円盤(ディスク)を交換することで何曲でも楽しむことができます。

1866年にこのタイプのオルゴールが発明されて以来、続々と新しい完成品も出てきました。人形のものも作られ、音楽用として人の集まるパブや酒場にも使われました。

1. シンフォニオン・エロイカ
1900年頃 ドイツ製(シンフォニオン社)
3枚のディスクを使用するオルゴールでシンフォニオン計の録音機

2. カリオベBOB
1900年頃 ドイツ製(カリオベ社)
ベルの響けを奏でるディスク・オルゴール
3. ポリフォン・コンソール
1890年代 ドイツ製(東家自村所有)
4. レジーナ・フォン
1910年代 アメリカ製(東家自村所有)
5. ミラ・アープル・タイプ
1900年代 スイス・ノルモッド製(東家自村所有)

ストリート・オルガン

手回しのハンドルでピンが動くオルゴール・ストリート・タイプは、木製の円筒(バレル)に打ち込んだピンでキーを弾かし演奏します。また、筒の石をあげて、この孔がキーの穴の中心にくると空気が流れる仕組みがあります。

19世紀後半に金銀製の真鍮、木の真鍮は、祭りのパレード、祭りの行列など多様な使われ方をしました。

1. アモーレット
1890年代 ドイツ製
ブード・オムワンの演奏に乗って人形が踊ります
2. 街の音楽家
1890年代 日本製(十字屋)
明治時代の日本で作られたオルガンです。銀座の十字屋から発売されました。孔のあいた紙の正常を使用して演奏するので経路線と名付けられました。リ、テライカ・ストリート・オルガン
現代 ドイツ製(東家自村所有)

